

正福寺報

平成 26 年正月号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

正しい判断

正福寺住職 松原 行樹ぎょうじゆ

文芸評論家の亀井勝一郎先生（一九〇七〜一九六六）のご著書を拝読していると、次のような言葉がありました。

「馬を走らせながら花を見る。馬から降りて花を見る」

ご著書によると、一九六〇年に先生が中国を訪れた時に、労働者の間で使われていた合言葉だそうです。

「馬を走らせながら花を見る」とは、全体を総合的に眺めていく態度、「馬から降りて花を見る」とは、ある一部を丁寧に細かく観察する態度です。

この双方の結びつきによって、正しい判断が出来るという意味です。

問題に直面した時、正しい判断ができていますか？ 誤った判断をして後で後悔したことはないですか？

小生の場合、「仏教のことはわかるけれど、世間のことはわかりません」ではいけません。仏の教えをよく学び、丁寧に調べていく。「馬から降りて花を見る」態度がまず必要です。

他方でそれでは広い視野を欠くので、それが実生活の中でどんな意味があり、どう役立てていくのかを考える。つまり「馬を走らせながら花を見る」必要が起こってきます。どちらかに偏ってしまえば、殻に閉じこもって正しい判断を下すことはできません。

私たちは大変忙しい時代に生きています。自分のことだけで他者には無関心、いわば馬を走らせてばかりですから時には立ち止まりたいものです。無数のご縁が集まって成り立っている私たち。自分をよく見つめ、正しい判断をして、社会の一員として少しでも人様のお役に立ちたいものです。